

末期がん患者支える方法解説

山城町 石賀丈士医師が出版

緩和ケア医として
千人以上の患者を看
取ってきた桑名市在住
の石賀丈士医師(40)

がこのほど、「最期ま
で、命がやいて」を幻
冬舎(本社・東京都)か
ら出版した。末期がん
患者が住み慣れた家
で精一杯生きた姿を通
して在宅緩和ケアにつ

いて伝えている。
「闘病生活に奪われ
た青春を取り戻した
青年」を始め、8人の
末期がん患者と家族
の絆を紹介。「在宅で
看取った家族のほとん
どは死ぬ間際は落ち
着いている」と石賀医
師。家族の了承を得て
患者の写真も掲載し

た。
各エピソードの後に
は、抗がん剤や医療用
麻薬、経済的な負担な
ど在宅ケアのノウハウ
も分かりやすく解説
している。

石賀医師は200
9年、四日市市山城町
に在宅医療専門の「い
しが在宅ケアクリニック

ク」を開設。現在は医
師8人、スタッフ総勢
29人体制となり、
330人の患者を見
守る。新規に訪問依頼
があるうちの6割が末
期がん患者で、最近の
1年間で約250人
を看取ったという。

石賀医師は「四日市
市は在宅医療の先進
地域になりつつある」
と話し、「末期がんと
診断されたら、最期を
自宅で迎えるという選
択肢があることを知っ
てほしい」と訴える。

B6版、221ペー
ジで13000円(税
別)。全国の書店、アマ
ゾンなどで販売。

在宅医療に関する
問い合わせは同クリニ
ック ☎059・33
6・2404へ。

最期まで、 命がやいて

緩和ケア医が教える
末期がん患者が
人生を全うする方法

石賀丈士



石賀先生のサイン入り著書を10人に
プレゼント。応募は20面の読者プレゼ
ントと同じ方法で。

種られた日を
いかにのびのびと
過ごした青年

余命2か月を
乗り換え、
闘いの成人式を
見届けた母

念願の
クリスマス
パーティーで、
家族に囲まれて
過ごした父

石賀丈士 著

在宅医療に関する
問い合わせは同クリニ
ック ☎059・33
6・2404へ。